



2010年12月
号外
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代)
<http://www.dpj.or.jp>
press@dpj.or.jp

区民が考える
未来を創る

2011年
統一自治体選挙

鈴木あやこ (35歳・会社員)
氏の公認を決定!

民主党は2011年統一自治体選挙に“鈴木あやこ”さんの公認を決定しました!“鈴木あやこ”さんの考えを紹介します。



江東区政に“働く女性”の目線を!

政治は誰が…

新しいまち、江東区を本当に良くしていく力を持っているのは、いわゆる政治家らしい政治家ではなく、私たち区民です。

区民自身が「何をどう変えるか」を考えなくてはなりません。そして、そのためには区民自身が江東区をもっと知ることが必要です。

江東区議会に若年層の声を

例えば、江東区議会の課題として、現在41名の区議会議員のうち、約70% (30名) は50歳以上の議員です。女性議員は全体の約25% (10名)。30代の議員は7% (3名) で男性です。

性別に関係なく幅広い世代と様々な人生経験を持った人が参加する政治こそが、これからの江東区に必要なのではないでしょうか。

働く世代が全ての課題のカギ

江東区は、人口急増による「多子化」から待機児童をはじめとする育児の問題を抱えています。また、高齢化も深刻で介護施設の不足などの問題を抱えています。

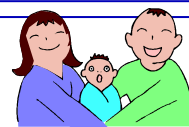
これからの時代、こうした問題を解決していくためには、働く世代のサポートが必要です。子どもたちやおじいちゃん・おばあちゃんたちが、安心して暮らしていくためにも現役世代が働きながら地域社会に関わりを持てる社会にしたい。

働く女性として、働く世代の身近な問題を取り上げ、力いっぱい働きます。

鈴木あやこ

鈴木あやこが
実現したいこと

「育児」と「仕事」の両立編



待機児童問題は一番に解決していかなければならない問題です。一方で、子どもたちに負の財産を残さないために、10年後、20年後の児童人口の推移も勘案した対策がなければなりません。

私は、空き住宅などを活用した『ミニ保育園』を推進します。

学童保育の多くは「18時」までしか運営していません。19時までの運営が一定程度整備されている保育園から小学校に進学する際の『1時間の差』。これは、働く人にとって大きい問題です!

私は、学童保育の『19時まで運営』を推進します。

ご意見・ご感想も聴かせてください! ボランティアも大歓迎です!

鈴木あやこ後援会 Mail : suzukiayako2011@mail.goo.ne.jp



成城大学文芸学部卒業後、NTT中央パーソナル通信網（株）。現在は㈱NTTドコモに勤務。江東区未来会議などの区民会議への参加が江東区政を考えるきっかけに。若い議員や女性議員が少ない江東区議会の構成に問題意識を感じ、自分にできることがあると気付く。現在、早稲田大学大学院公共経営研究科在学し、北川正恭教授たちのもと政治を勉強中。子育て・介護・仕事が両立できる元気な江東区を目指して活動開始！

1975年東京生まれ。猿江・潮見の居住を経て現在は豊洲に在住。下町も臨海地域も両方大好き。趣味は料理・地元グルメ食べ歩き・英会話。家族は夫と愛犬さくら。尊敬する人は「キュリー夫人」

民主党は2011年4月の江東区長選挙に、「川北直人」氏（36歳）の推薦を決定しました。
本号外では、川北直人さんの考えをご紹介します。



日本一暮らしやすいまちづくりをめざして
～頑張るあなたの幸せを、全力で支えたい～

今まで、江東区民の方々の中には、まちのあり方や役所のあり方、区長のあり方に関心を持たれない方々もいらっしゃるのではないのでしょうか。表層的な話ではなく、本質的な部分です。区長は「ひと通り、問題なく、今まで通り」やってくれれば、あとは何かあれば役所の方に話せばいい、という程度だったような気がします。

これからは、自治体も民間企業同様に、住民（顧客）に対する行政サービス（商品）を提供する際に、優先すべき生活上の課題（需要・ニーズ）をちゃんと見極めていく洞察力と過去に捉われない行動力が重要になると考えます。昨日まで当たり前のように使っていた税金の使途を必要性に応じて柔軟に変えたり、節税（経費削減）に対する努力だって必要です。そして、より良い住民サービスを提供するための財源を確保できるよう他の地域から観光客を呼び込むなど、何らかの形で税収を増やす事も重要な視点です。もちろん、それらによって住民税減税という方向を打ち立てる事だって出来るのです。

だからこそ、前例や慣例から脱却した、「新しい考え方を持った区長」が役所を動かして行かなければならないのです！

例えば、通勤で利用される駅内で各種行政手続きが出来たら、毎日忙しい皆さんにとってどんなに便利でしょう。今までは区民（顧客）に役所や出張所（会社）まで足を運ばせていたのが当たり前。でもこれからは、役所が皆さんのもとへ足を運ぶ時代なのです。

日本一暮らしやすい江東区をつくり、頑張る皆さんの生活を全力で支えること

それが私の思いです。

川北直人

2011年4月
江東区長選

川北直人氏
(36歳)

の推薦を決定！

1974年深川生まれ。区立元加賀小学校、区立深川第六中学校出身の深川育ち。東海大学工学部卒業後、総合建設会社へ入社。東北や東海地域で勤務しながら国家資格を取得するも、愛する深川と江東区のために働く事を決意し、帰郷。自由党（当時）代議士の東祥三秘書に転身。平成15年（28歳）区議会選挙において3,392票で第1位当選。平成19年（32歳）区長選挙において55,437票を獲得するも次点、惜敗。捲土重来を期して奮闘中。家族は妻と長男、愛犬チヨ。2011年1月中旬より、HP (<http://naoto-k.com>) にて政策発信！